

集い・交わり・語らい・楽しむコミュニティゾーン

伯耆しあわせの郷だより

【発行】 伯耆しあわせの郷 ☎ 26 - 5581 <http://www.shiawasenosato.jp>
 指定管理者 旭ビル管理株式会社



5月の連休には、藤寺として有名な大山町住雲時には、多くの人が訪れます。また、隠れた名所に日南町宮内にある神宮寺もあります。

倉吉は、県立美術館も開館し、交通インフラも整備され、県民だけでなく県外や海外からも多くの人が訪れて、益々発展することを期待します。

また、教室の方ですが新年度に入り各教室が一斉に開講しました。この度、新たに開講した教室は「女性のためのリンパケアヨガ教室」と「太極拳中級教室」です。受講申込みをいただいた方の人数は八二〇名で昨年の七七七名に比べ四三名、約五%増加しました。コロナ前にはまだ及びませんが着実に増えて受講いただいている事に感謝申し上げます。

「教室受講生が増加傾向です」
 しだれ桜の里で有名な当施設は、4月に入って満開になり暖かな日差しを受けて多くの人が和やか花見に訪れていただきました。また、しだれ桜の里まつりには、天候にも恵まれ、おいしいグルメやイベントも盛りだくさんで過去最高の人出でした。

受講生募集

※申し込みは、5月1日（木）から先着順にて受け付け、定員になり次第締め切ります。

※受講料は初回前納。納入された受講料は原則返金いたしません。

※受講料のほかに材料費などが必要です。

教室名・講師	日時	回数	定員	受講料
韓国料理を作ろう！ 「豚のピリ辛炒め（テジブルコギ他）」 調理師 西尾 春代さん	5月18日（日） 10：00～13：00	1回	30名	600円 （要材料費）



＊＊今月の休館日＊＊

5月7日（水）、5月12日（月）、5月19日（月）、5月26日（月）

R6	教室関連事業			展示会	イベント
	スポーツ教室	創作文化教室	特別教室		
4月	1期	前期	・韓国料理を作ろう！ ・カフェ風ランチ ・米粉の春どら焼きを作ろう！		・しだれ桜の里まつり 4/6 
5月			・韓国料理を作ろう！		
6月			・韓国料理を作ろう！ ・パン作り教室		
7月			・韓国料理を作ろう！ ・カフェ風ランチ ・夏のデザート作り	・書道教室作品展 	・夏休みこどもワイワイスクール 
8月	2期		・韓国料理を作ろう！ ・カフェ風ランチ		
9月			・韓国料理を作ろう！ ・パン作り教室		・伯耆しあわせの郷まつり9/20・21 
10月		後期	・韓国料理を作ろう！ ・カフェ風ランチ ・ハロウィンのデザート作り	・エスポワール展（絵画教室） 	
11月			・韓国料理を作ろう！ ・お菓子作り教室 ・干支つくり	 	・国際交流ベタンク大会 ・国際交流フェスティバル11/9 
12月			・キムチ作り教室 ・カフェ風ランチ ・クリスマスのデザート作り ・そば打ち教室	・パッチワーク展11/15～30 	
1月	3期		・韓国料理を作ろう！ ・カフェ風ランチ		
2月			・韓国料理を作ろう！ ・バレンタインのデザート作り ・みそ作り	・書楽書初展 ・各種教室作品展（前期） 	
3月			・韓国料理を作ろう！ ・カフェ風ランチ	・各種教室作品展（後期） 	

新教室紹介 女性のためのリンパケアヨガ

毎週 土曜日 19時00分～20時00分

週の終わりの土曜の夜に、緊張した身体を、呼吸とポーズで整えていきます。
むくみの解消だけでなく疲労回復など体の様々な効果が期待できます。初めての方でも安心して受講して頂けます。
ぜひ一緒に初めてみませんか？



新教室紹介 太極拳教室 初級・中級

- 🕒 中級 金曜日 09時30分～10時45分※写真右
- 🕒 初級 金曜日 11時00分～12時15分※写真左

武術でありながら、健康運動としても人気の高い太極拳。やってみたいけれど不安というお声に答えて、参加しやすく続けやすいように初級教室を新設しました。また、長く続けられているみなさんから、太極拳をより極めて高みを目指したいというお声にも答えて、経験者向けの中級教室に進化しました。どちらも長く続けられるよう楽しい教室を目指します。



鳥取県立美術館オープン

整備構想からおよそ30年を経て3月30日(日)、倉吉市に鳥取県立美術館が開館しました。

1階の県民ギャラリー(約500㎡)は、展覧会やパフォーマンス発表の場として借りて利用することができます。県民ギャラリー初の作品展として「砂丘社1920～2025～展」が4月1日(火)～4月13日(日)の期間開かれました。

「砂丘社」は1920年に鳥取県で創設された芸術団体で、絵画、詩や戯曲、小説、音楽会や演劇公演なども行い、総合的な芸術運動を展開しています。今回の展覧会では、砂丘社誕生105年の歴史の中から過去と現在の同人による作品72点が展示され、絵画教室②の山内信先生(写真左)と受講者の横山尚登さん(写真右)の作品が展示されました。



約3億円の購入費が賛否を呼んだアンディ・ウォーホルの代表作「ブリロの箱」にちなんだ県美応援企画・特別展「はこ展」がコミュニティプラザ百花堂で3月28日(金)～4月6日(日)の期間開かれました。県の美術界をけん引する中部地区の著名な作家29名が「ハコ」をテーマに制作した作品が展示されていました。書道教室の名越蒼竹先生の作品「ハコはいろんなものでできている」「Boxer(拳闘者)」など、見応えのある作品が展示されていました。鳥取県伝統工芸品指定制度創設40周年、また「因州和紙」と「弓浜緋」の国伝統工芸品指定50周年を記念した鳥取県伝統工芸品半世紀展「ようこそ、ようこそ 50年 これからも」が4月18日(金)に開幕し5月10日(土)まで開かれています。因州和紙の張り子や傘、弓浜緋の着物や布団、県内窯元の陶芸作品や郷土玩具、竹製品、倉吉緋など、200点以上の作品を見ることができます。

県無形文化財保持者で織物教室講師の福井貞子先生の作品、倉吉緋「砂丘の風紋」は、平成9年度全国伝統的工芸品・公募展で通産省生活産業局長賞を受賞したものです。

なお、来年2月に県民ギャラリーで伯耆しあわせの郷織物教室の「スペイン緋展報告展」などを実施予定です。



新講師紹介 きもの着付け教室

🕒 第1・3火曜日 13時15分～15時15分

講師 田栗 礼子さん

お着物に興味のある方、着付けをはじめてみませんか？

お気に入りのお着物でお出掛けしましょう。

教室では生徒さん達が熱心に和気あいあいとした雰囲気を取り組まれています。

また、9月に開かれるしあわせの郷まつりでは、着物の展示や浴衣着付け等ありますのでぜひお越しください。



新職員紹介 夜間受付担当

平井 暁彦さん

3年余りの充電(?)期間を経て、4月から夜間受付として、再び伯耆しあわせの郷でお世話になる事になりました。

微力ながらも皆様に気持ちよくご利用頂けるよう努めて参りたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。





❀ 伯耆しあわせの郷 ❀
しだれ桜の里まつり
 令和7年4月6日(日)に開催しました。
 まつりに合わせたように桜が満開、お天気にも恵まれ
 1300人を超える方にご来場いただきました。



ボランティア募集

《お礼肥え、ヤゴ・ヒコバエ、ツタの撤去などの作業を行います》

日時：6月14日(土曜日)
 10:00~12:00

持ち物：作業のできる服装、軍手、
 鋸、剪定鋏など

集合：伯耆しあわせの郷玄関付近

申込：伯耆しあわせの郷まで

TEL26-5581

その他：お茶と軽食を準備します。

少雨決行

NHK いろドリにて PR



4月3日(木) 夕方6時10分からのNHKいろドリ「ふるさと伝言板」のコーナーに出演し、「しだれ桜の里まつり」を宣伝してきました。宣伝の効果で、まつりも大盛況で、TVを見て初めて米子から来られた方もありました。

しだれ桜の里を育てる会では、まつりの最中、ブースを設けて桜のコンフィチュールと桜茶の試飲を行い、アンケートに感想を書いてもらいました。桜を愛でるだけでなく、美味しいと思っていただける製品開発を目指して目下研究しています。乞うご期待ください。

編集後記

しだれ桜が今年もきれいな花をつけ、まつり以外の日も、連日カメラを持った多くの人が訪れてくれました。「しだれ桜の里を育てる会」を立ち上げて今年で8年目になりますが、徐々に認知されているようで嬉しい限りです。そして、今取り組もうとしているのが桜を使った製品作りです。前鳥取県食品衛生研究所所長の小谷さんが桜のコンフィチュール(桜の漬物)を作ってくられ、この度のまつりで来場者に試食をして頂き感想を書いてもらいました。皆さん総じて肯定的で「ぜひ商品化をしてほしい」「上限一五〇〇円くらいなら購入しやすい」など具体的なご提案もありました。また桜の花びらで作ったお茶も試飲して頂きました。八重桜のお茶は美味しいのですが、残念ながら八重しだれの方は苦みがあり今のままでは、難しいようです。そこは食品研究の専門家である小谷さんのお力を借りることにします。「花なれば桜花かな 目も鼻も 愉しませるか 麗しいかな」こんな歌を読んでくださった方もいらっしやいました。